

# まことに ゆ・た・かな心

横須賀市立ろう学校 中高等部通信 第6号

平成 29 年 (2017 年) 6 月 27 日

## 暑く、そして熱かった 神体連陸上競技大会

いつもは6月第1金曜日に大会を行っていたのですが、今年は横浜港開港記念日(6月2日)と重なったので、第2金曜日開催となりました。天気予報で9日に傘がついたりつかなかったりで、順延を覚悟していました。でも、介護体験の大学生にてるてる坊主を作るよう頼んでおいたのが良かったのでしょうか。

9日は日焼けしてしまうほどの好天に恵まれ、無事に大会ができました。



大会初参加の中1は、ソフトボール投げで自己記録を更新しました。

中2は2回目なので、雰囲気慣れてきました。他校の知り合いにも会えました。



高2は前日体調不良で欠席したので、最後の大会になります。万全の<sup>ばんぜん</sup>体調で参加してください。



## 体育館が立派な劇場になりました

6月23日、小林紀子バレエ・シアターをお迎えして、芸術鑑賞会が行われました。

前日、4tトラック2台に積まれた舞台装置や大道具、小道具、<sup>いしょう</sup>衣裳が校内に運ばれ、ステージの広さが倍になり、舞台の<sup>そで</sup>袖が設置され、たくさんの照明がついて、体育館が劇場に変身しました。



当日3校時のリハーサルでは、バレエシューズをはき、レッスンを繰り返し練習しました。そして本番。舞台に立ち、いろいろな動きを<sup>ひろう</sup>披露しました。激しい動きで<sup>ひろう</sup>疲労しましたが(オヤジギャグが出てしまいました)、滅多にない<sup>めった</sup>経験ができました。

ダンサー以外は黒いTシャツを着ていて目立ちませんでしたが、バレエの公演は、ダンサーだけでなく、衣裳を準備する人や舞台を作る人、照明を担当する人、音響を担当する人など、実に多くの人たちが自分の役割を果たして、初めて成功するものだということがわかりました。また、小林紀子バレエ・シアターは巡回公演事業で、国内の学校を多数訪問していますが、特別支援学校は本校が初めてで、今回の公演のために手話を勉強されたそうです。

